

千葉県柏市における歯科と他職種との連携並びに情報共有の在り方について

一 柏歯科医師会の取り組み

金剛寺 高宏 赤羽 康彦

千葉県柏歯科医師会

For vision for cooperation and information sharing with dental and other occupations in Kashiwa, Chiba Prefecture - Kashiwa Dental Association's efforts

Kongouji Takahiro Akahane Yasuhiko

Kashiwa Dental Associationb

Information sharing with other occupations in the home practice of dentistry is essential. In Kashiwa City, the city government and the Medical Association plays a central role, is provided with a mechanism to promote home care and nursing care.

As a result, the attending dentist is in the friendly environment of the visit medical care. That the Dental Association is involved in the initiative in the operation of this system, also for of the region residents, even for Dental Association member, it is a large meaning are considered to be.

Multidisciplinary collaboration and information sharing on the primary care dentist to visit medical care is important.

However, this is dentistry is unfamiliar even from medical forms and historical point of view.

In this presentation, sharing of information, making the relationship face-to-face, on the way, to report the current status of Kashiwa, Chiba Prefecture.

Keywords: Home care, Primary care dentist, Medical cooperation, Share information to be

1. はじめに

柏市は人口40万人規模の東京近郊の都市であり現在1万3千人の方が要介護認定を受け、2030年には高齢化率が26, 7%。「2025年問題」の当事者である中核市である。

柏歯科医師会としてもこの問題に対し市と共に様々な取組を行ってきた。

2. 柏市における在宅医療・介護連携推進事業

2.1 地域医療拠点事業

地域医療拠点事業は柏市では市行政が行っている。地域医療拠点「地域医療連携センター」はその施設に柏医師会、薬剤師会、歯科医師会、センターを運営する福祉政策課が「同居」する象徴的な施設であり事業展開をしている。

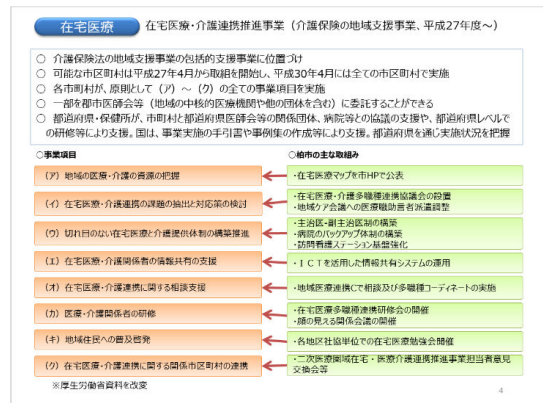


図1 在宅医療・介護連携推進事業
介護保険の地域支援事業（平成27年度～）

トピックスとしては（イ）柏市在宅医療・介護多職種連携協議会の設置

（エ）在宅医療・介護関係者の情報共有の支援（カ）医療・介護関係者の研修があげられる。

2.2 柏プロジェクトとは

医師会が主導し柏市が事務局として在宅医療介護を推進するしくみである。H21年よりいくつかの協議会を経て現在は「柏市在宅医療・介護多職種連携協議会」が各職種の合意形成の場となっている。この協議会はいつまでも住み慣れた地域で安心してくらせるま

お口のチェックシート

7つのチェック項目

- ① 食べようとしない
- ② 食べこぼしや、うまく噛めないことがある
- ③ 飲み込んだ後に食べ物や口に残っている
- ④ 食事中によくむせる
- ⑤ 飲み込んだものが逆流することがある
- ⑥ 肺炎を繰り返す
- ⑦ 口腔ケア（歯磨き）が難しい

食べ物の形や食事介助で不安がありませんか？

ケアの時口を開けない、嫌がる
むせて心配なことがありませんか？

監修：日本大学歯学部口腔機能療養学講座 助教
柏市医療公社 中山海利先生

該当する項目や質問がありましたら下記までお電話を下さい。
柏市医師会附属歯科介護支援センター所属の歯科衛生士が訪問し、
専門的な評価と口腔ケア指導をいたします（無料）
連絡先 柏市医師会附属歯科介護支援センター
☎04-7147-6480 受付 月～金 9時から17時まで

図4 お口のチェックシート

「お口のチェックシート」について

在宅療養中の方は、その原因となる疾患やケア環境により、摂食嚥下機能の低下や、誤嚥性肺炎のリスクが高くなります。**表面の「お口のチェックシート」**は、次のような方のお口の状況を確認していただくことにより、歯科サポートの必要性を検討して頂くために作成したものです。

監修：日本大学歯学部口腔機能療養学講座 助教
柏市医療公社 中山海利先生

確認をしていただきたい方	提供できる歯科サポート
◇がんと末期の方	口腔乾燥や、口腔粘膜のたれが起るため、口腔ケアにより、不快症状を軽減します。
◇脳卒中後遺症の方 (口腔や咽頭、喉頭に麻痺がある方)	口腔や咽頭、喉頭に麻痺があると誤嚥しやすくなります。誤嚥性肺炎を予防するために、嚥下機能に適した食形態の見直し、摂食機能療法、口腔内を清潔に保つための口腔ケアを行います。
◇認知症で食事が減少している方	認知症により摂食機能が低下すると、口からの栄養摂取が困難になります。「最期まで口から食べられるための食事支援」を提供します。
◇重度難病や神経疾患の方	病気の進行によって、嚥下障害や誤嚥性肺炎のリスクが高くなります。口腔ケアによる口腔内の保清潔や嚥下機能に適した食形態の見直しを行います。
◇誤嚥性肺炎の既往がある方	誤嚥性肺炎を繰り返すことで、身体機能や抵抗力が低下します。肺炎になった原因を検査し、嚥下機能に適した食形態の見直し、摂食機能療法、口腔内を清潔に保つための口腔ケアを行います。
◇経管栄養の方で口腔環境が悪い方	口から食べていない状態でも、口腔内は清潔になり、誤嚥性肺炎などの原因になります。口腔ケアによる保清潔や保清潔を行います。

＜経管栄養の方へ＞
胃瘻から栄養摂取されている方でも、検査やリハビリテーションによって、口から食べられるようになる可能性があります。
「口から食べたい」というご要望がある場合は**歯科介護支援センター**までご相談ください。

＜費用の月額目安＞ 2,000円～4,000円前後（医療保険が1割負担の方の場合）
※訪問先や、訪問回数、嚥下リハビリなどにより金額が変わります。担当歯科医師にご相談ください。
※歯科治療が必要な方は別途治療費がかかります。
※特定医療認定や身体障害者手帳(1、2級)をお持ちの方は負担金が減額される場合がありますのでご確認ください。

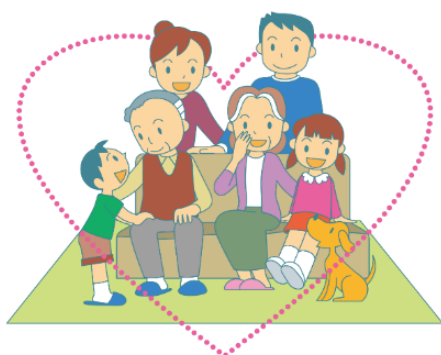
＜歯科医師及び歯科衛生士ができること＞
○医療保険による訪問診療や介護保険による在宅療養管理指導の範囲内で、一人ひとりの口腔機能の状態を評価し、機能訓練を含めた専門的な口腔ケアを行います。

図5 お口のチェックシートについて

4. 終わりに

地域包括ケアシステムとは地域住民が各ライフステージで安心して暮らせるまちづくりであり地域の実力が問われる。地域の特性を理解し各専門職が連携をしていかなければならない。柏市では多くの検証の場を設け連携の在り方をマニュアル化している。(在宅医療・介護多職種連携柏モデル ガイドブック:図6, 7) 難産の末生まれた柏市ならではのガイドブックである。これは完成形ではなく常に各職種が話し合い内容をアップデートしていく。

在宅医療・介護多職種連携 柏モデル ガイドブック



我が家でよりそう 医療と介護

図6 在宅医療・介護多職種連携柏モデル ガイドブック

(2) 医科・歯科連携

NEW

- 歯科介入の目的
 - 口腔ケアによる保湿・保清により、口腔機能（摂食・咀嚼・嚥下・構音・唾液分泌等）の維持・改善及び誤嚥性肺炎等を予防する。
- 口腔チェックシートの目的
 - 歯科以外の多職種が、簡便に口腔内の課題を発見し、歯科に繋ぐことにより、口腔機能の改善や誤嚥性肺炎の予防に寄与する。
- チェックシートで確認する対象者
 - ・がん末期
 - ・肺炎を繰り返す
 - ・脳卒中後遺症（両側麻痺）
 - ・認知症で移動・移乗が困難になってきた
 - ・重度な難病・神経疾患、経管栄養 等
- どのタイミングで実施するか



図7 医科・歯科連携
在宅医療・介護多職種連携柏モデル ガイドブックより

1